

『口腔ケア（こうくうケア）』とは何でしょうか？簡単に言いますと、歯磨きやうがいなどの方法で、口の中の歯や歯ぐきの手入れをすることです。若く健康な方にとつてはあたり前のことかもしれませんが、わが国の超高齢社会が深刻な状況になる中、今あらためて高齢者の口腔ケアの重要性が問い直されています。

高齢者とくに寝たきりや痴呆の状態にある、いわゆる要介護の方の口の中は、健康な方にくらべて相当悪い状態になっています。口の中が不潔になると虫歯や歯周病のトラブルだけでなく、歯・歯ぐき・入れ歯等に付着した食べかす・歯垢・歯石に繁殖した口腔内細菌に起因するといわれて最近注目されている「誤嚥性肺炎」の危険性もあります。歯が一本もなく入れ歯もいれていないという方も、口の中を清潔にしてさしあげることが非常に大切です。口の中

ご存じ口腔ケア

その1

がさっぱりしておいしくものが食べられるようになれば生活の意欲もわくでしょうし、かむことはボケ防止にもつながります。歯磨きや入れ歯の清掃がリハビリになって、生活の自立を取り戻す方もいます。

このように、要介護者のQOL（生活の質）の向上のために口腔

ケアは不可欠ですが、それでは実際にどのようなように口腔ケアを行ったらいいのでしょうか？

要介護高齢者の方の口腔ケアの難しいところは、口の中の状態、ADL（日常生活自立度）、生活環境などがひとりひとり異なっているために、その方だけに適したケアの方法を考えて行わなければな

歯科衛生士がやさしく指導

らないということです。

歯科のスタッフに「歯科衛生士」という職種があります。歯科衛生士は口腔ケアの教育を受けた唯一の専門職であり、これまで本稿で紹介した在宅・施設訪問歯科事業にも、経験豊かな歯科衛生士が多数出務しております。歯科医師会より訪問した居宅・施設では、健診した歯科医師の指示に沿って、歯科衛生士によるPOC（プロフ



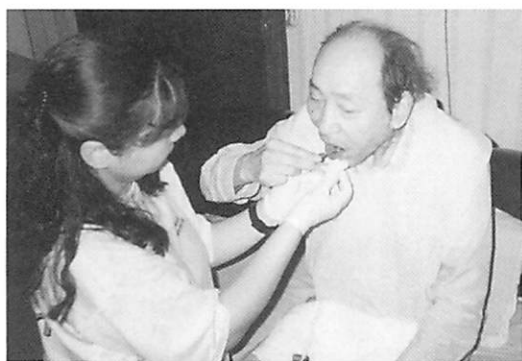
歯科衛生士による口腔ケアの現場
(老健施設入所者の方へ入れ歯の清掃指導)

エッショナルオーラルケア）が行われています。その際、介護される方へも日常生活のなかで、できることや、していただきたいことをわかりやすく指導しています。訪問口腔ケアの詳細については次回より掲載する予定ですが、要介護者への口腔ケアの内容、進め方等についておたずねになりたいことがあれば、左記までお問い合わせ下さい。

徳島県歯科医師会

口腔保健センター内

老人保健施設等巡回歯科診療所
(0886) 31-3977



歯科衛生士による口腔ケアの現場
(在宅寝たきりの方へ歯磨きを指導)